

第157回 BA エグゼクティブサロン概要 (1/19)

テーマ：iCADs のポテンシャルを見える化 ～NeuroAI®/D-Planner®による広告効果検証

講演者： 富士川 祐輔（ふじかわ ゆうすけ）
株式会社フジテレビジョン 編成制作局
編成ビジネスセンター ビジネスセンター事業部
局次長職 DX担当

小川 貴之（おがわ たかゆき）
株式会社NTT データ スマートライフシステム事業部
メディア統括部 課長代理

卓話概要：

iCADs（アイキャズ）とは in Contents Ads の略で、動画内に広告情報を付与する AVOD（広告情報付き無料動画配信）の新しい形であり、動画本編に看板などの広告情報や商品情報を付与するプロダクトプレイスメントのひとつです。

通常の AVOD はコンテンツの前後や途中でインストリーム広告が入る構造となっていますが、iCADs を導入することで動画本編内に広告を挿入することができるため、インストリーム広告の代替になれば、ユーザーにとっては動画本編を途切れることなく視聴できるメリットが得られます。

このように、画期的な iCADs ですが、「iCADs がどの程度ブランドリフトに貢献するか？」などの広告効果についてはこれまでアンケート調査以外に科学的に測定する手段がなく、広告出稿するスポンサーにとっては iCADs に広告出稿して良いかどうか、客観的事実に基づいた判断ができないという課題がありました。

そこで、脳科学×AI を用いた NTT データのマーケティングソリューション NeuroAI®/D-Planner® を用いることで iCADs のポテンシャルを科学的に示せるかを検証しました。

科学的な検証に成功すれば、スポンサーにとっては iCADs を利用した広告出稿の大きな判断材料となり、デジタルプロダクトプレイスメントという新しい広告サービスの市場開拓が期待できます。



略歴：富士川 祐輔 氏

1995年フジテレビ入社。以来、デジタルコンテンツを中心に番組、イベントなど多ジャンルにおいて企画・演出・プロデュースを担う。

ドコモとフジテレビによる 5G 共同実証実験（2017～2020）においては、新体感コンテンツの企画・開発を統括。

現在の主なプロジェクトとしては、【CxM（シーバイエム）】（テレビとスマホのリアルタイム連動による、視聴者インタラクティブテレビ体験システム）、【iCADs（アイキャズ）】（AVOD の新しい広告サービスとして、AI を利用したコンテンツ内デジタルプロダクトプレイスメントシステム）など。



略歴：小川 貴之 氏

通信キャリアから転身後、公共分野（中央省庁）および法人分野（電力・交通・流通・旅行・不動産・情報サービス・メディア）に係る各種インダストリーに従事。

直近ではクライアント先常駐による CX×Tech×Business の 3 軸からの新規事業創発、NeuroAI および Twitter データ等を使った視聴者反応予測サービスのビジネスディベロップメントを担う。